



## お知らせ

### (1) 核データ部会

#### 「核データなんでも相談室」開設

日本原子力研究開発機構

横山 賢治

[yokoyama.kenji09@jaea.go.jp](mailto:yokoyama.kenji09@jaea.go.jp)

核データについて分からないこと、ご質問、ご要望、ご相談がある方は、

「核データなんでも相談室」

(e-mail: [AESJ-NDD-soudan@ml.jaea.go.jp](mailto:AESJ-NDD-soudan@ml.jaea.go.jp))

までご相談下さい。

2009年10月に開催された「原子燃料サイクル事業の現場視点からの課題と要求」に関するシンポジウム[1]において、原子力分野から核データへ要望が出され、駆け込み寺のような相談窓口を設置するべきという指摘がなされました。これを受けて、2010年3月末に茨城大学で開催された核データ部会総会において、「核データ利用者支援小委員会（愛称：核データなんでも相談室）」が設置されることになりました。

核データ利用者支援小委員会は、核データ利用者の要望に迅速に対応するために核データ部会に設置された新しい委員会です。本委員会の委員長は、部会の運営委員から指名されることを受けて、この度小職が初代委員長を務めさせていただきます。私ひとりで核データのご質問になんでも答えられるはずありませんが、そこはご心配なく、内容に応じて各委員がご質問にお答えします。また、本委員会だけでは対応できないご質問やご要望にも核データ部会やシグマ特別専門委員会と協力して対応していくことになっています。

核データ利用者支援小委員会の委員は、核データ部会員の中から部会の運営小委員会が選定することになっており、現在、委員長を含めて10人の委員が選定されて活動しています。なお、委員の定員や任期（委員長のみ任期2年）は特に定められていませんの

で、本活動を支援していただける方はぜひ委員になっていただけますようお願いいたします。

ちなみに、本委員会の愛称である「核データなんでも相談室」の経緯は、まず核データ部会前部会長が「子供電話相談室」に倣って「核データ相談室」を提案されました。次に、前副部会長が、さらに利用者に親しみやすくと、「なんでも」を追加して、決まりました。この愛称からも分かるように、とにかく利用者の視点でどんなご質問やご要望にでもできる限り対応していこうという基本方針を感じていただけたと思います。

また、相談室の委員としては、核データ評価の専門家はもちろん、核データ利用者側から専門家も選定されています。これは利用者のご質問の意図やご要望を、核データ評価の専門家へ正確に伝えられるようにするためです。漠然としたご質問やご要望であっても委員が意図をくみ取ってうまく回答できる可能性もありますので、まずは遠慮せずにご質問を投げかけていただければと思います。

## 参考文献

- [1] シンポジウム「原子燃料サイクル事業の現場視点からの課題と要求～解析評価コードと断面積ライブラリの整備について～」、原子力機構シグマ委員会主催、原子力コード研究委員会・原子力計算科学専門部会共催、2009年10月30日、原子力機構・システム計算科学センター

開設案内 (<http://www.ndc.jaea.go.jp/ndd/helpdesk.html>)

### 「核データ利用者支援小委員会（愛称：核データなんでも相談室）」開設

(社) 日本原子力学会 核データ部会

「核データなんでも相談室」は、核データ部会に常置グループとして設置された相談窓口「核データ利用者支援小委員会」の愛称です。これは、核データの利用者側と開発側との間でコミュニケーションを活性化し、原子力研究開発全体に関わる共通基盤的な問題を取り扱う総合窓口としての役割を果たすために核データ部会に設置したものです。核データに関するご質問や、核データに関するご要望、ご相談をどしどしお寄せ下さい。核データ利用者の声に対して、シグマ特別専門委員会等と協力して、ご要望にお応えいたします。

## ●「核データなんでも相談室」への連絡方法

特設のメールアドレス ([AESJ-NDD-soudan@ml.jaea.go.jp](mailto:AESJ-NDD-soudan@ml.jaea.go.jp))

まで、ご氏名、ご所属、ご連絡先（e-mail、電話番号等）とともにご質問・ご要望・ご相談内容をお寄せください。お寄せいただいたご相談内容及びその対応結果は、本活動の報告としてまとめるために基本的に web、学会誌等で公開させていただきたいと思っておりますが、相談者に関する個人情報、相談者に無断で公開することはございませんので、安心して、どしどしお寄せください。

（※お願い） 技術的内容を正確に把握したい理由で、こちらからご連絡を差し上げられますよう、ご連絡先を記載願います。匿名のご相談には対応いたしかねますので、なにとぞご了承ください。また、「核データなんでも相談室」は、前述の通り、原子力研究開発全体に関わる共通基盤的な問題を取り扱う総合窓口としての役割を果たすため活動してまいりたいと考えておりますので、守秘義務が発生するようなご相談については、別途、対応を協議する必要が発生いたしますので、この相談室では対応いたしかねます。趣旨をご理解の上、あしからずご了解をお願いいたします。

## ●「核データなんでも相談室」の設立の経緯

2009年10月に開催された「核燃料サイクル事業の現場視点からの課題と要求」に関するシンポジウム等で、原子力分野からの核データへの要望について、「MA や LLFP 等、従来は重要視されなかった核種の核データの信頼性向上」及び「原子力事業者と研究開発側の接点強化と連携のための体制構築、役割分担・スケジュール・要求仕様などの共有」等が共通して取り上げられました。また、今後へ期待されることとして、「原子力事業者と研究開発側とでの双方のコミュニケーションが必要」、「核燃料サイクル全体に関わる共通の問題を取り扱うための（駆け込み寺のような）総合窓口が必要」であることが指摘されました。

これらを踏まえ、(社)日本原子力学会の核データ部会において検討した結果、「核データなんでも相談室」を設置することになりました。

## ●「核データ利用者支援小委員会」のメンバー（順不同、敬称略）

|      |            |      |            |
|------|------------|------|------------|
| 横山賢治 | （JAEA、委員長） | 中田哲夫 | （JNES）     |
| 伊藤卓也 | （NFI）      | 片倉純一 | （JAEA）     |
| 石川 眞 | （JAEA）     | 深堀智生 | （JAEA）     |
| 丸山博見 | （日立 GE）    | 原田秀郎 | （JAEA）     |
| 千葉 敏 | （JAEA）     | 平野 豪 | （テプコシステムズ） |